

一般競争入札を行いますので、京都市上下水道局契約規程第7条の規定に基づき、次のとおり公告します。

平成20年2月8日

京都市公営企業管理者

上下水道局長 西村 誠一郎

1 一般競争入札に付する事項

(1) 工事名称

伏見水環境保全センター 合流系雨水ポンプ機械設備工事

(2) 工事概要

ア	3号雨水ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ 170 m ³ /分	1台
イ	3号原動機	水冷式ディーゼル機関 610 kW	1台
ウ	3号減速機	直交軸かさ歯車減速機 減速比 1:2.5	1台
エ	3号吐出弁	電動仕切弁 φ1.100	1台
オ	3号逆止弁	緩衝装置付 φ1.100	1台
カ	燃料小出槽	鋼板製角型 1,800 kℓ	1基
キ	地下重油貯蔵タンク	二重殻タンク 20 kℓ	1基
ク	床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ φ65 mm	2台
ケ	ルーフファン	サイレンサー付 413 m ³ /分	4台
コ	燃料移送ポンプ	横軸歯車ポンプ 65ℓ /分	2台
サ	鋼製加工品類		1式
シ	配管及び弁類		1式
ス	既設設備撤去工事		1式

(3) 工期

契約締結後平成21年3月19日まで

(4) 工事場所

京都市伏見区横大路千両松町 地内

2 入札参加資格に関する事項

この公告に係る競争入札に参加できる者は、次に掲げる条件をすべて満たす者で、競争入札の参加資格の確認においてその資格があると認められたものとします。

- (1) 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しないこと。
- (2) 一般競争入札に参加する者に必要な資格を有すること。
- (3) 一般競争入札参加資格確認申請書の提出期限から落札決定の日までの期間に、京都市上下水道局競争入札等取扱要綱第27条第1項の規定に基づく競争入札の参加停止の期間が含まれていないこと。
- (4) 京都市上下水道局の平成18年度から平成21年度までの競争入札有資格者名簿に「工事」で登録されていること。
- (5) 建設業法第27条の23の規定に基づく最新の経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（この開札日の翌日において、当該審査基準日から1年7箇月を経過したものを除きます。）における「機械器具設置工事」又は「水道施設工事」に係る総合評定値が1,000点以上であること。
- (6) 平成9年度以降に、国内における単独又は共同企業体の代表者として、下水道法におけるポンプ場又は終末処理場にて揚水量90立方メートル/分以上のポンプ設備工事又はポンプ駆動用ディーゼルエンジン出力310kW以上の原動機設備工事のいずれかに係る設備工事の施行実績（元請によるものに限りません。）を有すること。
- (7) 建設業法の定めるところにより、本件工事の施工に必要な監理技術者又は主任技術者を当該工事に配置できること。（工場製作期間とそれ以外の期間の技術者

は同一の者である必要はありません。)

なお、配置予定の技術者は、常勤の自社社員であり、かつ、入札参加申出日において引き続き3箇月以上の雇用関係があること。

また、落札後において、実際に配置する技術者の変更は認められません。

3 問い合わせ先、一般競争入札参加資格確認申請書等の交付期間及び交付方法

(1) 問い合わせ先

〒601-8004 京都市南区東九条東山王町12番地

京都市上下水道局本庁舎1階

京都市上下水道局総務部用度課

(電話 075-672-7728)

ホームページのアドレス <http://www.city.kyoto.jp/suido/yodo.htm>

(2) 交付期間

この公告の日から平成20年2月20日(水)午後5時まで

(3) 交付方法

上記(1)の上下水道局ホームページに掲載しますので、ダウンロードして使用して下さい。

4 入札方式及び競争入札の参加資格の確認手続

(1) 本件入札は、京都市電子入札システムにより行います。

なお、入札参加希望者が電子入札により難いやむを得ない理由がある場合は、事前に管理者の承諾を受けることにより、紙による入札(以下「紙入札方式」といいます。)を認めることとし、別に定める方法により入札に係る手続を行います。

(2) 電子入札コアシステムに対応している認証局が発行したICカード(本市に提出済みの「使用印鑑届」と同一名義人のもの又は受任者がいる場合には受任者名

義のもので、かつ、落札決定日の日時までの間において有効であるものに限ります。)を取得したうえで、京都市電子入札システムへの利用者登録を行っている者が、インターネットを利用して入札データを送信します。(紙入札方式により入札に参加する場合は、上下水道局総務部用度課(以下「用度課」といいます。)に持参することとします。)

(3) 参加資格の確認の申請

入札に参加しようとする者は、次に掲げる書類(以下「申請書類」といいます。)を添付のうえ、京都市電子入札システムへ送信し(紙入札方式により入札に参加する場合は、用度課に持参すること。)、審査を受けることとします。

ア 一般競争入札参加資格確認申請書

イ 技術者配置予定調書

上記2(7)の監理技術者又は主任技術者等の配置予定を記載することとします。

ウ 添付書類

上記2(5)、(6)及び(7)に掲げる条件に関する書類等

(4) 申請書類の提出期間

提出期間

この公告の日から平成20年2月20日(水)午後5時まで。ただし、受付時間は、午前9時から午後5時まで。(紙入札方式申請者は、正午から午後1時までを除きます。)

(5) 参加資格の確認の通知及び工事の設計書・図面等の複写について

申請書類の受領後、競争入札の参加資格の確認を行い、その結果は、平成20年2月26日(火)に、京都市電子入札システムにより確認するよう、電子メールを送信します。(紙入札方式による場合は、電話により通知します。)

工事の設計書及び図面については、平成20年2月20日(水)までの期間に

株式会社平安光業（京都市中京区丸太町烏丸西入常真横町187番地 電話075-231-1177）において有償にて配布します。（受付時間は、午前9時から午後5時までとします。）

この期間に設計書及び図面の購入をされなかった場合、積算不能として本件入札に参加することができません。

(6) 参加資格がないと認められた者に対する理由の説明

ア 参加資格がないと認められた者は、管理者に対し、書面により競争入札の参加資格がないと認められた理由の説明を求めることができます。

なお、当該書面は、平成20年2月28日（木）までに、上記3(1)の場所に提出することとします。

イ 管理者はアによる説明を求められたときは、平成20年3月3日（月）までに説明を求めた者に対し、書面により回答します。

(7) 参加資格の確認の取消し

参加資格があると認められた者が次の各号のいずれかに該当することとなったときは、管理者は上記(5)による通知を取り消し、改めてその旨を通知します。

ア 参加資格があると認められた者が、入札日時までに、京都市上下水道局契約規程第3条に規定する一般競争入札参加者の資格を喪失したとき。

イ アに掲げるもののほか、この入札に参加する者に必要な資格を欠くこととなったとき。

ウ その他管理者が特に入札に参加させることが不相当であると認められたとき。

5 入札期間及び開札日時

(1) 入札期間

平成20年3月5日（水）、6日（木）及び7日（金）午前9時から午後5時まで。ただし、紙入札方式により入札書を持参する者は正午から午後1時までを

除きます。

(2) 開札日時

平成20年3月10日(月)午前9時から開札し、落札者を決定します。

なお、落札者に対しては、落札結果を電子入札システムにより確認するよう電子メールを送信します。(紙入札方式申請者には電話により通知します。)

(3) 入札の執行結果の公表

入札の執行結果は、決定後上記3(1)の場所で閲覧に供し、併せて上下水道局ホームページにおいて公表します。

(4) 入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、消費税及び地方消費税を含まない金額を入札することとします。

6 落札者の決定方法

予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とします。ただし、低入札調査価格制度に係る調査基準価格を下回る価格で入札を行った場合は、同制度による調査を実施し、契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認めるときは、その者との契約を行わないことがあります。

7 入札の無効

京都市上下水道局契約規程第12条各号(第3号を除きます。)に定めるもののほか、虚偽の申請により参加資格があると認めた者が行った入札は、無効とします。

8 その他

(1) この調達には、政府調達に関する協定の適用を受けものではありません。

(2) この手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨とします。

(3) 低入札価格調査の適用

ア 低入札価格調査を適用するために、入札参加者は、入札金額に対応する積算内訳書を添付し、電子入札システムに到達させることとします。紙入札方式申

請者は、入札予定期間中に用度課に持参することとします。

なお、持参により提出する場合は、積算内訳書に記名及び押印が必要となります。

イ 積算内訳書については、少なくとも項目、単価、数量及び金額を記載するものとします。

ウ 積算内訳書は、入札の参加条件として提出を求めるものであり、入札及び契約上の権利義務を生じるものではありません。

(4) 入札保証金 免除

(5) 契約保証金 必要

(6) 契約書作成の要否 要

(上下水道局総務部用度課)